



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月31日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9679 URL http://www.horai-kk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺本 敏之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 大地 清 TEL 03-3546-2924
 四半期報告書提出予定日 2020年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の業績 (2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	1,266	△4.0	△35	—	25	△51.3	42	169.8
2019年9月期第1四半期	1,319	3.7	5	—	51	—	15	△33.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	30.38	—
2019年9月期第1四半期	11.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	19,951	7,838	39.3
2019年9月期	20,606	7,848	38.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 7,838百万円 2019年9月期 7,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	3.7	250	55.5	320	△11.5	250	△17.5	179.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	1,404,000株	2019年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	7,635株	2019年9月期	7,566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	1,396,377株	2019年9月期1Q	1,396,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に弱含んでいるものの、企業収益が総じて高水準を維持し、雇用・所得環境の着実な改善により、個人消費の持ち直しの動きが継続する等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。ただし、米中貿易摩擦の動向、海外経済の不確実性や消費税率の引き上げによる影響等、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。営業収益は、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、他の3事業は前年同期を下回り、全体では前年同期比減収となりました。営業総利益は、不動産事業、千本松牧場は前年同期を上回りましたが、保険事業、ゴルフ事業は前年同期を下回り、全体では前年同期比減益となりました。一般管理費は前年同期を上回り、営業利益は前年同期比減益となりました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、営業収益が1,266百万円(前年同期比52百万円減)、営業総利益は142百万円(前年同期比18百万円減)、一般管理費は178百万円(前年同期比22百万円増)となり、営業損失は35百万円(前年同期比40百万円悪化)となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益51百万円(前年同期比17百万円増)を計上したことを主因に、経常利益は25百万円(前年同期比26百万円減)、四半期純利益は42百万円(前年同期比26百万円増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

お客様とのリレーションを強化し、リスク分析に基づくそれぞれのニーズに応じた保険商品の提案を行うコンサルティング営業を推進しました。営業収益は、生命保険分野では商品見直しの影響を受けたことを主因に、損害保険分野では前年同期に大口火災保険契約を長期で更改したことによる反動減を主因に、両分野とも減少し、全体で236百万円(前年同期比32百万円減)となりました。営業原価は経費の増加により前年同期を上回り、営業総利益は48百万円(前年同期比40百万円減)となりました。

②不動産事業

賃貸不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移しましたが、前期に譲渡した銀座ホウライビルの賃料収入の減少を主因に営業収益は368百万円(前年同期比22百万円減)となりました。営業原価は池袋室町ビル・巣鴨室町ビルの修繕費が減少したことに加え、銀座ホウライビル関連の経費の減少もあり前年同期を下回り、営業総利益は151百万円(前年同期比21百万円増)となりました。

③千本松牧場

秋の行楽シーズンに向けた企画やイベントの開催、旅行会社との連携強化、各種メディア露出を活用した広告宣伝等により、多くのお客様にご来場いただけるように努めました。しかしながら、10月から11月に悪天候に見舞われる週末が多く、ご来場者数は前年同期を下回り、食堂・売店・アミューズメント等直販サービス部門の売上は前年同期比減収となりました。営業推進部門は、地元量販店への乳製品等の販売が好調に推移し、売上は前年同期比増収となりました。酪農部門は、搾乳牛の頭数は前年同期並みとなりましたが、1頭当たりの搾乳量の増加に注力し生乳販売を主因に前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は部門全体では449百万円(前年同期比0百万円減)となりました。営業原価は、人件費の減少を主因に前年同期を下回り、営業総損失は35百万円(前年同期比2百万円改善)となりました。

④ゴルフ事業

男子プロのサードクオリファイニングトーナメントの開催、各種競技会誘致やテレビ放映等のメディアを活用した広報により、引き続き「戦略的なチャンピオンコース」としての認知度向上に積極的に取り組みました。また、大口コンペ誘致に向けた営業強化、Web上でのプラン充実、宿泊施設を活用した魅力的なパック商品の拡販等により、ご来場者の増加に努めるとともに、コースコンディションのきめ細やかな管理、宿泊施設の修繕等により、ご来場者の満足度向上に努めました。

この結果、ご来場者数は前年同期を上回り、営業収益は211百万円(前年同期比2百万円増)となりました。営業原価は、修繕費の増加を主因に前年同期を上回り、営業総損失は21百万円(前年同期比2百万円悪化)となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,952,549	6,296,420
受取手形及び売掛金	368,658	304,198
商品及び製品	146,877	141,857
仕掛品	7,092	17,058
原材料及び貯蔵品	54,134	60,049
その他	81,399	96,722
貸倒引当金	△364	△74
流動資産合計	7,610,346	6,916,231
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,737,945	2,700,035
土地	7,278,212	7,278,212
その他(純額)	1,813,737	1,858,453
有形固定資産合計	11,829,895	11,836,701
無形固定資産	51,707	46,757
投資その他の資産		
その他	1,137,822	1,174,906
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,114,822	1,151,906
固定資産合計	12,996,425	13,035,366
資産合計	20,606,771	19,951,598
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,188	85,164
未払法人税等	393,864	11,046
引当金	44,851	16,805
資産除去債務	—	10,511
圧縮未決算特別勘定	2,998,382	2,998,382
その他	814,513	884,589
流動負債合計	4,338,800	4,006,500
固定負債		
長期預り保証金	7,943,448	7,702,515
引当金	135,950	84,141
資産除去債務	118,675	108,449
その他	221,538	211,121
固定負債合計	8,419,612	8,106,227
負債合計	12,758,413	12,112,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	2,894,651	2,867,244
自己株式	△18,450	△18,648
株主資本合計	7,743,804	7,716,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	104,554	122,671
評価・換算差額等合計	104,554	122,671
純資産合計	7,848,358	7,838,870
負債純資産合計	20,606,771	19,951,598

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	1,319,281	1,266,373
営業原価	1,158,212	1,123,444
営業総利益	161,069	142,928
一般管理費	155,235	178,049
営業利益又は営業損失(△)	5,833	△35,120
営業外収益		
受取利息	70	38
受取配当金	1,879	2,507
会員権消却益	34,120	51,525
その他	10,770	6,974
営業外収益合計	46,840	61,045
営業外費用		
支払利息	50	43
乳牛除売却損	-	532
その他	628	20
営業外費用合計	678	596
経常利益	51,994	25,329
特別損失		
固定資産除売却損	3,323	425
投資有価証券評価損	40,000	-
特別損失合計	43,323	425
税引前四半期純利益	8,671	24,903
法人税、住民税及び事業税	2,369	2,369
法人税等調整額	△9,418	△19,880
法人税等合計	△7,049	△17,511
四半期純利益	15,721	42,415

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。